



自然道場跡、HAT、 デマンド交通について



令和会 ● 上野 顕介 議員

問 自然道場跡地の利用について市の考えは。

答 調整区域であり、アクセス道路の課題もあるが、民間事業者による三雲城址の観光と連携した事業展開を軸として地域活性化策を検討していく。地元の雇用につなげたい。

問 HATについて、道の駅にする計画もあり建設の議決をしているが、道の駅にするという当初の計画は。

答 駐車場収容台数が道の駅設置基準に達していない状況であり、今後国交省などに働きかけるが、道の駅にするのかどうかは市の未来にとって重要なことなので市民の声も聞きつつ慎重に検討します。

問 もともとみらい公園の全体構想で「ここびあ」に取り組んだはずなのに後からHAT建設をした。全体計画

を立てていたのか。

答 「ここびあ」は運営ノウハウのある農協を非公募選定したが、飲食事業にはノウハウがないため別途隣接地にHATを建設した。

問 来春以降、美松台ルート、妙感寺ルート、医療センター線のバスを取りやめてデマンド交通の実験をするが、住民の利便性と周知は。

答 財政負担軽減を図ることを目的として、予約型運行の実験をします。使い勝手としては現行のバスと同様と考えています。乗り継ぎや待ち時間、停留所などについて説明会等を通じて利用者に発信します。実証実験を通じて様々な意見を聴取して、対応を検討していきます。



生活道路の危険箇所について



みらいの風 ● 奥村 幹郎 議員

問 危険箇所の実態把握及び要望状況について

答 地域からの要望だけでなく、湖南省市通学路等交通安全プログラムにより、学校・PTA・地域と連携し子どもたちの安全を守るため、通学路の危険箇所の改善に向けて計画的に取り組んでいます。

問 流入(通り抜け)規制について

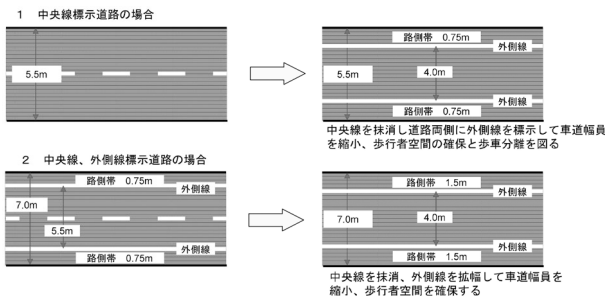
答 一定時間通行止めを行う意見もあります。が、付近の生活にさらに影響が及ぶことも懸念されており、地域全体で安全対策を考えることが重要だと考えています。

問 隅きり(見通しの確保)・拡幅等、改良計画の有無、及び所有者・地権者への協力のお願について

答 地権者や地元の協力を得られる所から対

策を講じていきたいです。

問 生活者・通学児童生徒の歩行者・自転車保護、車両の速度抑制のための外側線の内側への移設、中央線の廃止(片側一車線の廃止)の採用について(左図のように改善できないか)



答 路肩幅員が確保され、子どもたちを守るための有効な手段と考えています。